

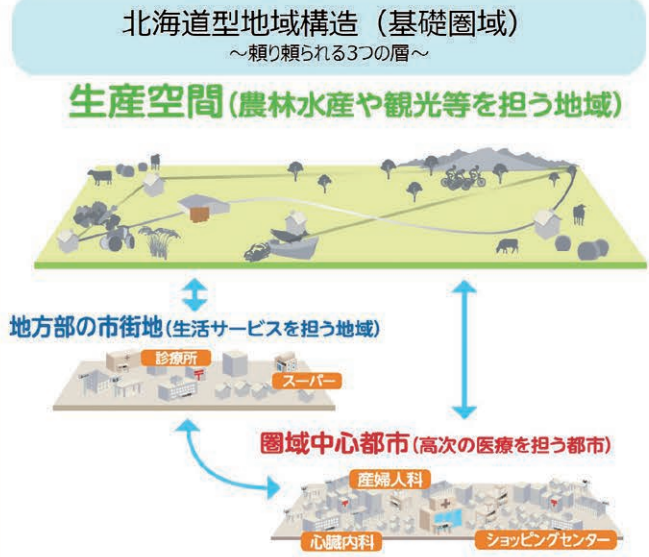
# 北海道総合開発計画の推進

平成28年3月に閣議決定された第8期北海道総合開発計画に基づき、生産空間を維持し、地域の強みを活かした産業・観光地形成、激甚化する災害対応強化のために、道北地域がめざす姿を共有して、多種多様な主体と連携して推進していきます。

また、令和3年10月開催の国土審議会第25回北海道開発分科会において、2050年の長期を見据えながら、「新たな北海道総合開発計画」の策定に向けた検討を始めることが決定されたことを受け、策定（令和5年度閣議決定予定）に向けた各種取組を確実に実施していきます。

## ● 北海道型地域構造の保持・形成

北海道の強みを支える一方で、将来的に無人化の進行が危惧される「生産空間」が、その役割を果たし続けるために、都市機能・生活機能が日常生活に支障のない水準で提供される「基礎圏域」を形成し、重層的な機能分担とネットワークによる連携を通じて、「生産空間」での暮らしを広域的に支えます。



名寄周辺モデル地域では、ワーキングチームにおいて喫緊に取り組む事項として、物流効率化や広域的な観光振興などをあげて、具体的な検討を進めています。



令和5年3月 物流WT

## ● 「かわたび北海道」プロジェクト

川の自然環境や景観、水辺の活動、サイクリング環境等、川に関する情報を効果的に発信するとともに、地域と連携して、魅力的な水辺空間の創出、水辺利活用を促進し、北海道らしい地域づくり・観光振興に貢献する「かわたび北海道」プロジェクトを推進します。

川へ行こう！ 川を楽しもう！



KAWATABI HOKKAIDO



# 防災対策

## 1 災害支援



令和4年6月28日からの大雨による災害対策用機械の支援状況（令和4年6月旭川市）

被災した地方公共団体へ緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）を派遣し、災害情報の収集や被災状況の迅速な把握、被害の拡大防止、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に行います。

## 2 防災訓練



十勝岳の噴火を想定した関係機関との合同訓練（令和5年2月美瑛町）

災害に備え、気象台や自衛隊、北海道、市町村などの関係機関と連携し、地震、洪水、火山噴火などを想定した防災訓練を行っています。